

2019 年度 事業報告書

「茅ヶ崎公園指定管理者」NPO 法人茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会

1 公園管理業務実施報告

- 1) 維持管理基本水準書をもとに、日常巡視、建築物点検、清掃等をおこなった。
- 2) 植物管理：年間計画に沿って草刈り、枯木等除去伐採をおこなった。
- 3) 水辺管理：年間計画をもとにアシ刈り、適宜に堆肥泥の浚渫をおこなった。
別途、横浜市の委託を受け、水生生物・水質調査、外来種駆除等をおこなった。
- 4) 水田管理：草刈り、畦管理、水管理等をおこなった。
- 5) 施設管理：園路、給排水施設、工作物等の定期点検、随時清掃をおこなった。
台風被害の後処理を目的として、横浜市に相談し、園路沿いの 12 か所で折れ枝を落としていただいた。また、追加で山の尾根のコナラー一本も追加で伐採していただいた。
- 6) 建物管理：トイレ、詰所の日常点検をおこなった。
倉庫の雨漏り、詰所周りの木造構造物、デッキ策板等も頻繁に点検し、修繕をおこなった。
- 7) 「安全対策マニュアル」をもとに、公園利用者の安全をはかった。
- 8) 植生及び水辺調査を継続し、結果をもとに保護、伐採等保全作業をおこなった。
- 9) 利用者アンケート(来園者・米作りほか催し)を実施、意見を参考に対応した。

2 自主事業実施報告

- 1) 植生豊かな公園をめざし、施設管理をおこなった。
- 2) 生物の多様性を図るため、調査、保全作業、水生生物保護等をおこなった。
- 3) 「昔ながらの米作り」を実施、里山景観保全と生物多様性を図り、活動した。
- 4) 地域の自然を知り、楽しめる観察会、体験を計画し、実施した。
- 5) 公園利用者が地域の自然にふれ、楽しめるよう展示等をおこなった。

「施設の自然環境を地域の財産としてより豊かに、未来へ引き継いでいく」「施設の特徴を活かし、地域の方々に自然の恵みと魅力を感じていただけるように管理を行う」これら基本方針のもと、事業を行いました。本年度は大型台風の直撃による影響で苦慮しましたが、米作りでは無事美味しいお米が収穫でき、管理作業では、倒木・枯枝により一時的に制限していた山中への立入禁止も年内に解除するに至りました。これも、サポーターさんやボランティアの方々からの多くのお力添えがあつてのものだと考えています。また、来園者や作業に従事するスタッフやボランティアの方々に事故がなかったことは何よりでした。今後も引き続き、安全な施設管理を心掛けていきたいと考えています。

1. 施設管理事業

基本方針「気持ちよく自然を感じ、安心して利用できる公園管理」のもと、管理を行いました。(資料p8-10)

施設管理事業には大きく分けて、構造物の維持管理と、自然の保全と2種があります。前者は主にスタッフが担い、後者はスタッフによる支援作業、サポーターさんをはじめとするボランティアの方々を含めた定例保全作業を中心に行われます。

1. 1. 構造物の維持管理 新たなスタッフに、構造物の維持管理作業をしてもらいました。毎週2回、園内のデッキの柵やボルトのゆるみ、詰所周りの木製構造物の破損・腐食等、細部まで点検を行い、必要に応じて修繕を行う等、施設の安全性の維持に努めました。また、正門外のデッキ下の収納空間の雨漏り対策、詰所前の展示生物の水槽の防水処理等加工を行い、日常管理作業の負担の軽減を図りました。



防水処理をされたカメ水槽

1. 2. 定例保全作業 計画から実施の流れとして、①事務局スタッフがゾーンごとの植生環境と管理目標をふまえ、場所を選定し、下準備を行う ②定例作業当日、皆で低木伐採とササ刈りなどを実施 ③ ②の後に適宜、支援スタッフが伐採木や枝をチップパーにかける、薪を作るなどして活用処理を行う。④ ①～③とは別に、適宜、事務局スタッフが植生環境と管理目標をふまえ、草やササ刈りを実施。という一連の作業が定着しています。また、2019年度は、スタッフの役割分担や、監督責任、休憩時間の目安等を再確認し、参加者が安全に、気持ちよく作業ができる環境の維持に努めました。



ササ刈

参加する市民の方は、各回 5～20 人程度で、主力のメンバーは 70 代男性たちですが、小・中学生、30 代～60 代の幅広い世代の方々にご参加いただいています。また、本年度は、リニューアルされたホームページを見た若手の女性や、他のイベントや米作りに参加いただいた小学生親子2組が続けて参加されるようになりました。広報の工夫や、自然に興味を持っていただくようにと続けてきたイベントの成果と言えます。今後も引き続き参加の呼びかけを工夫・改善を加えながら続けていきたいと考えています。

1. 3. 気候の変化 近年、草木の繁茂する勢いが増しているようです。また、秋には大型台風の直撃により、倒木が数本発生しました。また、高木にぶら下がる折れ枝が園路沿いでも多数確認されたため、安全確保に追われました。秋から冬の支援作業や定例保全作業では倒木や枯枝の処理に追われ、ササ刈等、

翌春の芽吹きのために重要な作業がほとんど行うことができませんでした。今後も大型台風が頻発するようになれば、利用者の安全確保や作業負担、植生管理の面で苦慮が強いられると考えられます。

1. 4. 伐採とその処理 台風による倒木・枯枝の処理を目的として、秋期に園路沿いの12か所で折れ枝の撤去を横浜市に依頼しました。現在、枝落とし作業は完了していますが、搬出等の片付け作業は中途となっています。また、追加でカエル池付近の西山尾根のコナラー一本も伐採していただきました。次年度の秋以降、市への依頼とは別に伐採と枯枝の剪定を業者に依頼する予定です。しかし、市や業者に依頼できる伐採本数は予算等により限度があり、伐採の必要性を感じられる木の多くが手を付けられていない状況です。また、丸太の搬出は費用の面から造園業者には依頼できず、私たちの作業で山から降ろすのは限度があります。昨年同様、伐採と園内に山積みされた丸太の処理について、横浜市と相談しながら検討していく必要があると考えられます。

1. 5. 支援スタッフ作業 伐採木の活用、機械整備、定例保全作業でできない高木の伐採*など、技術を要する作業を支援スタッフは多く担います。本年度も、管理費予算の関係上、作業時間を制限し、刈ササ・枝の多くをチップーに掛けずに堆積場に堆積しました。そのような中、スタッフ間で分担を決めて作業を効率化し、刈枝・枯枝もコンパクト且つ整然と堆積する等の工夫をして、限られた作業時間の中でも施設の安全・景観管理に抜かりが無いよう最大限努力しました。また、今年度より定例保全作業に参加されるようになった男性に支援作業もお手伝いいただけるようになり、課題となっていたベテランスタッフの作業の継承に希望の兆しが見られました。今後も安全管理・景観維持・林床の生物環境に配慮した管理作業を続けつつ、定例保全への参加を通じて生態園の保全作業に関心を持っていただいた方にお声がけをして後任のスタッフを探す努力もしていきたいと考えています。*直径20cm以下の高木



伐採木を使用して作られた薪とほだぎ

1. 6. 市民グループによる草刈りボランティア 都筑区の地域活動ボランティアグループ「やってみよう！」のメンバーによる草刈り作業が、5月、9月、11月に1回ずつ行われました。2002年から毎年、年に数回、ボランティアで草刈り作業をしていただきましたが、メンバーの方々の高齢化に伴い、本年度で生態園での活動は終了となりました。

1. 7. 生きもの豊かな公園づくり 多様な植物が生息できるように保護し、植生に配慮した草・ササ刈りを行いました。植生の豊かさがほかの生きものの豊かさにつながり、生きものの賑わいを感じられる風景となります。また、朽ち木を取って積んでおく場所を設け、堆肥の管理をする等、多様な昆虫が生息できる環境づくりも心掛けています。来園者アンケートでは、生態園のよいところとして最も多く挙げられたのは自然の存在に関してですが、生きものの豊富さについても子どもたちから多く挙がりました。「子どもたちの学習に役立つことが多くあります。今後も自然教育に役立つように願います。」と大人(70代)からの意見もあり、子どもたちのためにも多様な生きものが生息する環境を維持することはとても重要であると考えられます。

(資料 p11-13)

1. 8. 安全 本年度は、伐採木の整理中にスタッフが放った枝が、別のスタッフの顔に当たる事故がありました。幸い擦り傷程度の軽傷でしたが、作業時の気の緩み等の課題が残りました。また、指定管理とは別の委託事業作業中の事故(排水ポンプ運搬中の転倒による肋骨骨折)もありました。これらの事故を踏まえ、作業者は想定される危険の共有、作業における機械使用ほかルールの徹底、休憩時間の確保を守るほか、作業員同士の声の掛け合い等による意思疎通を十分に取りながら作業をする等、安全に対する意識をより

一層強め、事故の再発防止に努めます。また、事故発生時の報告・情報共有等の手順についても再確認を行っていきます。

1. 9. 施設管理事業の課題 次年度以降の施設管理事業の課題として、定例保全作業への参加の呼びかけ、支援スタッフの後任者の募集、樹木伐採とその処理が挙げられます。

2. 自然再生事業

2. 1. 植物管理 特に大きな問題は生じていませんが、高木の成長による日照不足、数年まえから目立ち始めた乾燥状態など、気になる問題が継続しています。日照不足は例年同様、高木類の間伐と低木の伐採で対処するしかありません。乾燥化は非常に心配な問題で、低木類の開花時期の乱れ、開花期の短さ、結実の悪さ、またスマレ類やニリンソウなどの小さな草本類の成長の悪さなどは乾燥化と関係している可能性があると思われる、今後の注意が必要ですが対処が難しい問題です。



ニリンソウ

林床を明るくし植物の生育を促すためのササ刈りや低木伐採などは全域的に行いましたが、十分ではありません。また、コナラ、サクラ類など高木の太径木化・老齢化が目立ってきています。これらは、伐採するにしてもスタッフやボランティアの方による作業では行えないので、横浜市に依頼していますが、十分な対処はできていません。

全体的には植生環境は維持されていますが、昨年度から目立ち始めた草本・小低木類の生育不良(カキドオシ、クサボケ、サギゴケ、チゴユリ、ニリンソウなど)が今年度も続いています。一方、2005 年以来確認されなかったサガミランの新株発生など嬉しい報告もあります。

2. 2. 昆虫観察 出現記録を始めて約 10 年、デジカメで写真に収め、それを基に種の同定作業に取り組んでいます。その結果、累積で約 738 種の昆虫を記録しています。市街地の真ん中に位置する緑地環境であることを考慮すると、それなりの種類の昆虫が生息していると考察されます。しかし、生態園周辺の環境は、農地の宅地化、大型マンション建設による人口増加等、市街地化が進み、トンボやチョウ、バッタなどの昆虫の内、滅多に見られなくなった種も出始めています。(資料p14)

シロテンハナムグリ



2. 3. 自然再生事業の課題 上記の調査・観察の結果、問題であると思われた現象について、より正確に現状を把握し、対策を考えるために、専門家による生態調査・評価が必要であると考えられます。

3. 田んぼ事業

田んぼにはドジョウやケラ、トンボのヤゴなどが見られます。日照と水と土とが揃った谷戸の畔周りなどには、生きものが多く見られます。小さい谷戸ですが、稲の生長が季節を彩り、東西の山の緑に囲まれた風景は、来園者の気持ちも和ませています。



3. 1. 昔ながらの米作り 2 枚あるうちの上の田では、例年参加者を募り、通年のイベントとして田んぼ作業を行っています。各作業をきちんとこなしながら、参加者が楽しく体験できることを大切に、事業をすすめました。リピーターも多く、本年度は9家族が先輩参加者として作業を円滑に動かしてくれました。(資料 p15-16)



かかしづくり

3. 2. 天候等の影響 本年度は夏にコナギ(湿生植物)が大量発生し、真夏に取除く作業を5回ほど行いました。秋には大型台風による上の田の収穫前の稲の多くが倒れ、大雨によりはさかけしていた稲が濡れ、脱穀後も籾米を藁蔭に広げて干す作業を繰り返す等、思わぬ作業が多く、苦慮しました。ですが、本年も昨年と比べれば少ないものの、上の田・下の田ともに、参加者や小学校の5年生児童らに満足にいきわたる量を収穫でき、出来上がったお餅の質も上々でした。



台風で倒れた稲

3. 3. 粳摺り精米 長年、機械の操作を含めた粳摺り精米作業に協力いただいた農家の方がご高齢のため、今後の負担を考慮し、お願いするのを本年度で最後とし、次年度からは、田奈農協の粳摺り精米を利用することとしました。

3. 4. 田んぼ事業の課題 本年度の台風や大雨による被害状況、前後にとった対応とその結果を参考に、異常気象による被害の防止・対応策を検討する。

4. 自然環境教育事業

4. 1. 催し 周辺環境が変化する中、地域の自然を体験、観察できる場としての役割を担い、その重要性は増しています。目的や方針の実現と検証を重ねながら、スタッフに過重な労力のかからない形を模索していく必要があります。天候不順のために中止した催しを除いて、計画どおり実施しました(資料p8-9)。講師の方々それぞれのお力により、参加者には楽しんでいただけたようです。

【昆虫探偵団】 昨年度、試行として新たに開催した「昆虫探偵団」を、本年度は本格的な催しとして開催しました。従来からの昆虫観察のイベントも含めた全6回の連続もので、昆虫を目で探し、捕虫網や時にはトラップを仕掛けて採集し、観察して放します。子どもたちが純粋に昆虫に触れて楽しむことを大事にしていますが、本年度は捕まえた昆虫のスケッチをしたり、最終回では各自で興味を持った昆虫について調べて発表する時間を設け、昆虫に対する理解をより深めてもらう工夫をしました。参加者の子どもたちからは、また参加したいという声や、親御さんからは、子どもが楽しみながら参加しており、とてもいい機会だった、とのお声をいただきました。



捕まえた昆虫を観察



最終回の発表会

【めざせ！ザリガニマスター】 子どもたちが園外で採集したザリガニを引き取り、カードをプレゼントする催しですが、ロコミで広がり、ザリガニの引き取りと提供のための郵送等、スタッフの負担が大きくなっていったことから、本年度は、それまで毎週日曜日としていたスタッフによる対応日を第1・3日曜日に限定し、参加者ごとのザリガニの持ち込み数の書き取りは全てエクセルへの直接入力とする等の対策をとり、負担軽減につなげました。参加者からは不満のお声はいただいておらず、むしろスムーズな対応に好評のお言葉をいただいています。



カードをもらい喜ぶ参加者

4. 2. 教育機関の自然体験活動支援

【近隣小学校への支援】 本年も、茅ヶ崎小学校と茅ヶ崎東小学校5年生が、生態園の田んぼ(2枚あるうちの下の田)で米作りを行いました。育苗からもちつきまで授業に組み込んでいる小学校は、横浜ではとても稀なようです。地域



田起こし・代掻き

の子どもたちの貴重な体験活動を指導、支援しました。

この他にも、茅ヶ崎小学校・茅ヶ崎東小学校のクラブ活動の支援や総合学習等でのインタビューの受け答え等を行いました。さらに、夏からは茅ヶ崎台小学校の支援級の生徒たちの自然観察での来園も月 1 回程受入れました。引率されている先生からは、生徒たちが毎回来園を楽しみにしているとのことのお言葉をいただきました。また、生徒のうち数人が開園日にも遊びに来園する等、生態園の自然をとっても心地の良いものだと感じてもらえているようです。

5. 自然の普及啓発事業

【広報誌】 小学校配布の季刊「生態園だより」、地域紙「タウンニュース」へ毎月の投稿を継続しています。

【ホームページ】 2019 年 1 月にリニューアルしたホームページのブログを月 2～3 回の頻度で更新し、現在の自然の様子や見られた生きもの、催しや活動をふんだんな写真を使って魅力的に発信しています。ブログを Facebook とリンクさせる等、SNS の活用も積極的に行っています。また、今見られる植物が掲載されたページを設け、月 1～4 回ほど更新しています(冬季を除く)。閲覧者が自宅等から園内の植物情報入手して、来園するきっかけとなってもらうことを期待しています。

【アメリカザリガニ冊子】 前年度から漫画家の方に依頼していたアメリカザリガニについての啓発パンフレット「アメリカザリガニについて」が完成しました。現在、淡水域の保全活動を行っている団体のメーリングから案内を送信し、希望された団体に頒布しています。今年度には、地域の小学校に配布する予定です。



アメリカザリガニ冊子

【植物ガイドブック】 既に 3 刊を発行している「ようこそ生態園へ」は、植物グループが手がけ、本年度は 4 刊目の秋号の内容の検討が大方済み、最終段階へと進んでいます。次年度中には発行の予定です。

【タケノコ、サンショウ、シイタケ】 地域の方々に自然の恵みを提供している公園として定着しています。本年度はタケノコが裏年であったため、提供数は少なかったものの、秋のシイタケの収量は上々で、好評を得ました。



豊作だったシイタケ

【園内掲示・展示】 来園者に生態園の自然や生きものを知り、親しみを感じていただけるように、例年通り、生物展示、パネル等展示、植物名札を折々に更新しました。3 月からは、子どもの関心を引くためにクイズを園内の随所に掲示し始め、親子連れから好評を得ています。



クイズの掲示

6. 水辺委託業務

指定管理事業とは別に、横浜市教育委員会からの業務委託による水生生物の調査保全活動に取り組みました。主に水辺スタッフが生物調査、外来種駆除、アシ刈り、泥浚渫などを行っています。

6. 1. 水生生物保護 本年度の確認魚類は、一昨年度から記録の無かったナマズが再確認されたのを含めて 8 種、甲殻類は 5 種でした。コイ科の希少種の平均採捕数は 135 尾と、昨年度に続き直近 10 年間で最も低い水準でした。本種の再生産に、昨年から増加しているブルーギルが影響を及ぼしている可能性があります。

ニホンアカガエルの保護を 2009 年から続けていますが、今冬確認された卵塊は約 10 塊のみで、幼生の

姿も岸から確認できたのはごくわずかでした。本年度は昨年度よりも早い時期から、卵塊を確認次第、捕食者(カルガモ等)の侵入を防ぐための網でカエル池を覆う等の対策を行ってはいますが、今後も個体数の減少に歯止めがかけられないようであれば、さらなる対策が必要です。

トンボ池では毎年2-3月にアズマヒキガエルが産卵しますが、今春確認されたのは3卵塊のみでした。近隣にお住いの方から、「10年程前にはトンボ池全体で卵塊が見られたが、数年で著しく減少し続けている」との心配の声もいただきました。今後はアズマヒキガエルの減少への対策もとる必要があると考えられます。

6. 2. 外来種駆除 昨年度から侵入が確認されていたブルーギルは本年度の採捕個体数は391個体と前年度の23個体から著しく増加し、定着したことが確認されました。本年度は昨年度の柴漬け漁法に加え、アイカゴ、小型定置網、手網による押し網漁法を導入し、ブルーギルへの駆除に注力しました。また、外来種のカワリヌマエビの再生産および個体数の著しい増加が確認され、定着したものと考えられます。アメリカザリガニについては、本年度の採捕個体数は2,569個体で、前年度の3,510個体よりも減少したものの、これはブルーギルの駆除に割く労力が増え、アメリカザリガニの積極的な採捕ができなかったためであると考えられ、予断は許さない状態です。計4尾の存在が確認されていたコイ成魚のうち、3尾は釣りにより駆除しました。

6. 3. 泥 本年度計画していたカイボリは、秋の台風と春は新型コロナ感染拡大により中止となったため、スタッフ2~3名ほどで、田んぼからの流入口と北側デッキ付近のみの泥上げを小規模に行いました。御手洗池での泥の堆積は大きな課題の一つで、上流のカエル池や下流のトンボ池でも、この10年間の泥の堆積により、胴長で入ると深いところでは大人の腰まで泥に埋まるほどです。昨今、豪雨による土砂流下が全国的に頻発しています。生態園では泥の浚渫を通常業務として継続していく必要があります。

6. 4. 水辺委託業務の課題 上記の活動を通じて、底泥の堆積と対応、外来種の駆除、生物環境の観察継続が課題と考えられました。

7. その他

7. 1. 来園者アンケート 136通の回答をいただきました。「米づくり体験すごく楽しいです！」(9才以下)「初めてこの公園へ来ました。学校のそばだとは思えないほど静かで心が落ち着きました。カモが好きなのですが、この場で見られるとは思わず、じっと観察してしまいました。今この書いているときにも飛んできて嬉しくなりました。また来ようと思います。」(20代)「子どもたちの学習に役立つことが多くあります。今後も自然教育に役立つように願います。」(70代)等、嬉しい感想をたくさんいただきましたが、「池がもう少し澄んでいけばよい」(60代)のような水質改善を求める意見や、草の繁茂の抑制を求める意見、開園日・時間、西門の開門を求める意見を複数いただきました。草の繁茂については、保全と景観のバランスが取れた適切な植生管理を引き続き行い、園路沿いの草刈りをより重点的に行うなどの努力を続けていきます。水質や開園日時・西門閉門については、現在の掲示をより目につきやすいデザインに変更したり、原因や理由をわかりやすく記載するなど、改めて来園者の反応を見ながら工夫を重ねていきます。(資料p11-13)

7. 2. 他団体との連携など 秋に、文化・自然体験施設11団体の連絡会が行われ、参加しました。横浜市の指定管理を単独指定で受け、体験施設の管理にあたる団体の集まりで、各団体での課題を共有し、意見を出し合いました。

地域でパワフルに活動するおやじの会には、伐採木の薪作りや、子どもたちの体験活動での薪利用など、有効に使っていただきました。また、ブルーギル駆除や希少コイ科仔稚魚の流出防止対策について、内水

面試験場や水辺スタッフ OB の方々から貴重なご意見をいただきました。多くの方々の支援をいただいて事業を行うことができます。

2019年度 事業一覧

| 月 | 施設管理 | 自然再生 | 自然の普及啓発 | |
|--------|-----------|---------------------|------------------------|-------------------|
| 通 年 | 管理 施設清掃 | 観察 植物定点 | 掲示 「今月の植物」 | 提供 野草カレンダー |
| | 施設安全 | 鳥類 | 「御手洗池で見られる生きもの」 | 生産物 タケノコ・ショウブ・ササ |
| | 柵点検 | 昆虫ほか | 「昔ながらの米作り(年間風景)」 | サンショウ(苗・実) |
| | トイレ・花壇 | 調査 植生 | 田んぼ作業風景(作業毎) | 薪・竹トンボ・竹細工 |
| | 園路草・木 | 水質 | 昆虫・鳥類等生きもの案内 | ザリガニ |
| | 園路刈草敷き | 水生生物 | その他活動案内パネル | 発行 ニュースレター(NL、毎月) |
| | シタケほだぎ | 昆虫ほか | 植物名札 | 生態園だより(4回) |
| | 道具・機械 | | 展示 採集生物・ハチの巣・生物標本 | 記念誌・生きものたち |
| | 魚籠・胴長 | 駆除 移入植物 | 飼育 魚類・カメ・ザリガニ・モクズガニ | 植物Gブック「ようこそ生態園へ」 |
| | 水槽管理 | 移入水生生物 | 催し 「めざせ！ザリガニマスター」5～10月 | 三つ折りパンフレット |
| | ポンプ水量 | アシ除去 | ネイチャークラフト(毎月) | 「アメリカザリガニのこと」 |
| | 堆肥 | ササ刈 | 昆虫探偵団(6～12月、計6回) | |
| | 作業 伐採木玉切り | 保護 植物 | 昔ながらの米作り体験 | |
| 薪作り | カエル | 発信 ホームページ | | |
| チップパー | クモ等卵のう | (ブログ・イベント情報・今月の植物等) | | |
| 低木・ササ刈 | | タウンニュース記事 | | |

<下線>は催し。後ろの数字はボランティアまたは参加人数 >>青字は横浜市教育委員会水辺委託業務>

| 月 | 施設管理 | 自然再生 | 米作り | 催し・調査試行 | 自然の普及啓発 | 協力(地域・他団体) |
|-------------|--------------------|---------------------|-------------------------|--------------|----------------------------|-------------------------------------|
| 4 | 枯木点検 | 低木刈・ササ刈 44 | 参加者抽選 | 野の花ウォッチング 18 | スタンプラリー開始 | 小学校入学式参列 |
| | チップパー | 定置網設置 | 種もみ漬け | スギナつみ 4 | 植物名札設置 | 小学校米作り打合せ |
| | 植物保護紐張り | 保護ナガコガネグモ卵戻し | 種もみ撒き 11 | 草だんごづくり 24 | 植物Gブック検討 | |
| | イラガ駆除 | | 当落お知らせ | ネイチャークラフト 13 | | |
| タケノコ堀り | | 名簿作成 | | | | |
| ハチトラップ設置・回収 | | | | | | |
| 5 | 薪置き場増設 | トンボ池整備 25 | オリエンテーション 54 | 野の花ウォッチング 9 | 植物Gブック検討 | 都市大調査受入 |
| | 薪作成 | 低木・ササ刈り 24 | 田起こし代播き 52 | サンショウの実の調査 3 | 植物名札更新 | 都筑ふれあいウォーク下見 |
| | チップパー | 魚類調査 | 畦塗り 5 | ザリガニマスター 52 | 看板更新 | 種もみ播き(小学校) 350 |
| | 正門外倉庫雨漏り対策 | 定置網設置 | 苗箱雨除けシート | ネイチャークラフト 3 | | ザリガニ引取 (中央公園) |
| | チップパーメンテナンス | 刺し網回収 | 苗箱移動・施肥 | | | |
| リヤカー修理 | | トンボ修理 | | | | |
| ハチトラップ回収 | | 田んぼ水位調整 | | | | |
| 6 | 枯木伐採 | ササ刈 20 | 田植え 51 | 昆虫探偵団 | 植物Gブック検討 | 東小アウトドアクラブ |
| | 枯枝剪定 | トンボ池泥さらい | 田起こし代播き(小学校) 350 | ・オリエンテーション 9 | | ・予定打合せ |
| | ザリガニ飼育水槽修繕 | | 田植え(小学校) 350 | ・ペイトラップ 8 | | ・生きもの探し対応 30 |
| | AED収納箱作成 | | 小学校田植え準備 (境界・間隔目安作成) | ザリガニマスター 80 | | ・ザリガニ釣り 30 |
| | カメラ研ぎ | | 田んぼ水位調整 | | | 生物貸出(研究) |
| 湧水出口修繕 | | | | | | |
| 7 | 展示水槽修繕 | 魚類調査 | 草取り 38 | ネイチャークラフト 1 | | はあとでボランティア打合せ |
| | 御手洗池排水溝修繕 | 低木・ササ刈 9 | コナギ駆除 (小学校先生協力) | 昆虫探偵団 8 | | 茅ヶ崎台小支援級来園 25 (カブトムシについて説明) |
| | チェンソー作業 | | 樋設置 | ・バナナトラップ | | 茅ヶ崎小2年インタビュー対応 40 |
| 竹ササ刈(提供用) | | | | | | |
| 8 | AED収納箱修繕 | コイ駆除試行 | コナギ駆除 | ザリガニ釣り観察会 8 | 都筑区理科教員実習対応 20 | 看護学校ボランティア受入 (草刈り) 2 |
| | 展示水槽修繕 | | | 昆虫探偵団 13 | はあとでボランティア 実習受け入れ | 11 北部ユースプラザ 連携相談 |
| | 御手洗池排水溝修繕 | | | ・セミの抜け殻観察会 | | ザリガニマスター活動紹介資料 送付 *相模原ふれあい科学館 |
| 詰所内外配線点検・修繕 | | | | | | |
| 9 | 台風被害点検 | ノコンギク保護(草刈り) | かかし作り 56 | 野の花ウォッチング 7 | 植物Gブック検討 | 7 |
| | 落枝片付け | サガミラン保護(紐張り) | 倒伏稲穂処置 | 昆虫探偵団 8 | ザリガニパンフレット提供 (他水辺協力団体) | |
| | 倒木・枯木伐採 (チェンソー) | かいはり準備(ポンプ設置) | かかし修繕 | ・秋の虫観察 | | |
| | 伐採枝・丸太片付け | ザリガニ駆除 9 | | | | |
| 倒伏植物固定 | 伐採枝・丸太片付け 13 | | | | | |
| 10 | 倉庫虫干し・整理 | かいはり準備(ポンプ追加) | 稲刈り 53 | | ザリガニパンフレット案内 *メニューリスト利用 | 神奈川大学実習受入 20 (倒木処理・草刈等) |
| | 台風被害点検 | 伐採枝・丸太片付け 15 | 稲刈り(小学校) 350 | | | |
| | 倒木・枯木処理(チェンソー) | | 脱穀 34 | | | |
| | 伐採依頼木検討 | | かけや補強(台風対策) | | | |
| | カメラ研ぎ | | 餅つき道具整理 | | | |
| | | かけや覆い取り付け (大雨対策) | | | | |
| | | 籾米天日干し | | | | |

| 月 | 施設管理 | 自然再生 | 米作り | 催し・調査試行 | 自然の普及啓発 | 協力(地域・他団体) |
|----|---|------------------------------|--|---|--|---|
| 11 | 倉庫整理・天井増強 (雨漏り対策) ほだぎ周辺丸太整理 堆肥管理(稲わら入れ) 御手洗池排水溝修繕 | ブルーギ駆除追加作業 伐採枝・丸太片付け 8 | 籾米天日干し 餅つき道具運搬・整理 籾摺り精米 もちつき 53 | ネイチャークラフト 9 | 植物Gブック検討 | 茅ヶ崎台小3年生来園 120 東小アウトドアクラブ 30 (竹伐り) 茅ヶ崎台小支援級来園 25 |
| 12 | 倉庫整理・天井増強 デッキ柵破損修繕 堆肥置き場整理 薬小屋清掃 枯枝整理・運搬 | アシ刈 コイ駆除 伐採枝・丸太片付け 10 | もちつき補助(東小) | ネイチャークラフト 6 昆虫探偵団 14 ・冬越しする生きもの ・発表会 | 野草カレンダー頒布 | 茅ヶ崎台小支援級来園 25 |
| 1 | 倒木処理 薪割・薪整理 詰所前ステップ作成 ほだぎ用丸太運搬 チェーンソーメンテナンス 丸太裁断 廃棄物裁断・処理 | コイ駆除 二枚貝調査 ザリガニ侵入防除壁作成 | 20年度予定作成等準備 | 越冬女王バチ探し 2 植物Gブック検討 2 | 餅つき道具貸出 地域情報誌記事提供 東小アウトドアクラブ 30 ・火起こし体験 茅ヶ崎台小支援級来園 25 茅ヶ崎小4年インタビュー対応 15 | |
| 2 | 倉庫屋根補強 倒木処理・片付け 倉庫内道具整理 シイタケほだぎ作り 10 | カエル池網張 | 修了証書郵送 | 親子自然遊び 11 ・たき火を楽しもう ネイチャークラフト 9 | | 茅ヶ崎八景聞き取り |
| 3 | 倉庫屋根補強 ハチトラップ設置 伐採木整理 トイレ清掃用具整理 | アシ刈 | 餅つき道具運搬 | おたまじゃくし貸出 3 (中止催し代替策) | クイズ看板設置 | 環境研究所藻類調査受入 |

□業者依頼業務・作業

| 項目 | 月日 | 説明 |
|---------|----|------|
| トイレ清掃全般 | 通年 | 斎藤商会 |

□運営ほか

| 月 | 運営 | 地域連携 |
|----|--|---|
| 通年 | 報告(月次・四半期・年度/環境創造局) 計画提出(年度末/環境創造局) 事務局打合せ(毎月) 拡大事務局打合せ(適宜) 理事会・定期総会(年1回) 公園事務所打合せ(年1回程度) | 借用(茅ヶ崎町内会館/四町連絡協議会) 印刷(茅ヶ崎・茅ヶ崎東・中川小学校) 預け(Pボトルキャップ3kg→茅ヶ崎保育園) 授業フィールド(茅ヶ崎・茅ヶ崎東小学校) 調査フィールド(都市大) 米作り(茅ヶ崎・茅ヶ崎東小学校) クラブ活動(茅ヶ崎東小学校) |

| 月 | 運営 | 研修・視察等 | 月 | 運営 | 研修・視察等 |
|---|--|------------------|----|---|----------|
| 5 | 18年度事業報告作成 委託報告提出(教育委員会) 事業報告提出(市民局) トイレ清掃業者契約締結 人事運営打ち合わせ 議案書作成 監査・理事会・総会 | | 9 | 会員登録整理 会計事務所打合せ 水辺管理検討会(教育委員会) | |
| 6 | 理事会・総会議事録作成 事業報告提出(環境創造局) 変更登記(法務局) 定款変更報告(市民局) 公園事務所打ち合わせ | | 10 | 公園事務所打合せ 賃金計算確認 | |
| 7 | 支援スタッフ打合せ | | 11 | | 希少魚検討会視察 |
| 8 | 社会保険関係書類提出(社保事務所等) | 会計研修 チェーンソー研修 | 12 | 伐採作業打ち合わせ 年末年始閉園掲示 年末調整・扶養控除申告作成 | |
| | | | 1 | | |
| | | | 2 | 税務署関係書類作成 予算作成 | |
| | | | 3 | 各保険関係更改手続き 委託事業見積もり提出 事業計画ほか書類提出(環境創造局) | |

□およその利用者数等

| 催し参加 | ボランティア参加 | 入園数(活動外) | サポーター登録 | スタッフ勤務 | トイレ清掃 |
|------|----------|----------|---------|--------|-------|
| 855 | 348 | 5,375 | 174 | 1106 | 360 |

□横浜市による実施作業ほか

| 項目 | 月 | 説明 |
|--------------|-----|---|
| 行政評価 書類提出 | 10月 | 施設賠償責任保険証書複写提出 |
| 現地確認・ヒアリング | 2月 | シフト表・出勤簿、緊急連絡網、事故災害対応マニュアル、帳簿、拾得物台帳、利用者アンケート 提示 |
| 伐採 | 11月 | 台風被害木12本を市に依頼。園路沿いの枝落とし作業は完了 |

□取材

| 項目 | 月 | 説明 |
|----------|------|--------------------|
| itscom | 4・6月 | 「草だんごづくり」「ヤゴ救出大作戦」 |
| はまれぼ.com | 2月 | 定例保全作業・ネイチャークラフト |
| 港北ガーデン | 3月 | 夏号記事掲載相談 |

2019年度 収支計算書

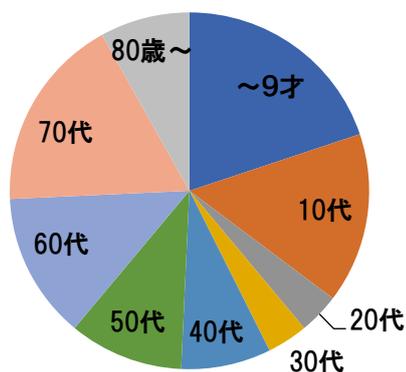
2019年4月1日～2020年3月31日まで

(単位：円)

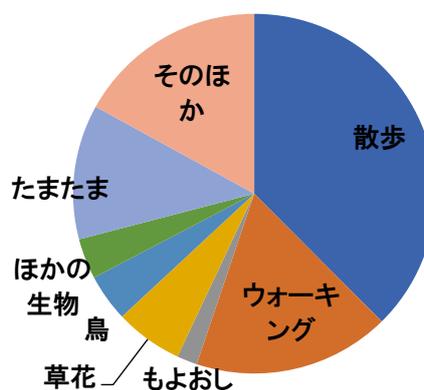
| 科 目 | 横浜市指定管理事業 | 一般会計 | 合計 | |
|--------------------|-------------------|----------------|-------------------|---|
| I 経常収益 | | | | |
| 横浜市指定管理費 | 10,063,970 | | | <消費税込み> *個人からの寄付金・寄付金箱、園内整備で出た自然物などへのお気持ち(協力金)、催し参加への協力金(実費以外) |
| 受取寄付金・受取運営協力金 | | 391,037 | | |
| 自動販売機 | | 59,644 | | |
| 会費 | | 104,500 | | |
| 受取利息 | | 39 | | |
| 経常収益計 | 10,063,970 | 555,220 | 10,619,190 | |
| II 経常費用 | | | | |
| 1. 事業費 | | | | |
| (1) 人件費 | | | | |
| ①施設管理人件費 | 1,207,293 | | | |
| ②自然再生人件費 | 1,257,328 | | | |
| ③田んぼ人件費 | 1,320,847 | | | |
| ④環境教育人件費 | 783,912 | | | |
| ⑤自然の普及人件費 | 762,228 | | | |
| 事業管理人件費 | 1,110,306 | | | |
| 法定福利費 | 302,470 | | | |
| 福利厚生費 | 160,719 | | | |
| 研修費 | 10,660 | | | |
| 人件費計 | 6,915,763 | | 6,915,763 | |
| (2) 事業費 | | | | |
| ①施設管理 | 951,141 | | | *トイレ施設管理委託 188,254 |
| ②自然再生 | 138,146 | | | |
| ③田んぼ | 68,553 | | | |
| ④環境教育 | 109,764 | | | |
| ⑤自然の普及 | 270,445 | | | |
| 一般会計(支出1) | | 70,955 | | |
| 事業費計 | 1,538,049 | 70,955 | 1,609,004 | |
| (3) 事業管理費ほか | | | | |
| 通信費 | 104,609 | | | |
| 事務諸費・消耗品 | 73,183 | | | |
| 会議費・来客等 | 2,779 | | | |
| 旅費・市内交通費 | 6,098 | | | |
| 役員(交通・通信費補填) | 2,500 | | | |
| 機器・そのほか雑費 | 249,970 | | | |
| 事業管理費ほか計 | 439,139 | | 439,139 | |
| 事業費計 | 8,892,951 | 70,955 | 8,963,906 | |
| 2. 管理費 | | | | |
| (1) 人件費 | | | | |
| 管理人件費 | 529,116 | | | |
| 法定福利費 | 60,494 | | | |
| 福利厚生費 | 32,144 | | | |
| 人件費計 | 621,754 | | 621,754 | |
| (2) その他経費 | | | | |
| 通信費 | 22,036 | | | |
| 事務諸費・消耗品 | 17,825 | | | |
| 会議費・来客等 | 2,572 | | | |
| 旅費・市内交通費 | 4,972 | | | |
| 役員(交通費・通信費補填) | 6,500 | | | |
| 租税公課 | 458,220 | | | |
| 一般会計(支出2) | | 448,271 | | |
| その他経費計 | 512,125 | 448,271 | 960,396 | |
| 管理費計 | 1,133,879 | 448,271 | 1,582,150 | |
| 経常費用計 | 10,026,830 | 519,226 | 10,546,056 | |
| 当期正味財産増減額 | 37,140 | 35,994 | 73,134 | |

■2019年度 来園者アンケート■

来園者の年代組成



来園目的



あるとよいもの（ある:35、ない:90）

| | |
|---------|--|
| ~9才 | <p>【自然・生物】・生きものを増やしてほしい ・虫の広場 ・小さいクサガメが触れれば ・カナヘビ（2） ・カエル ・花がたくさん見れるようにしてほしい</p> <p>【施設】・遊具 ・動物園 ・おもちゃ</p> |
| 10代 | <p>【自然・生物】・小川 ・犬 ・カメなどを入れる</p> <p>【施設】・巣箱 ・花畑 ・野菜を育てる ・（池の？）真ん中を渡る橋</p> <p>【イベント】・魚が釣れて持ち帰れるイベント ・魚を知るイベント</p> <p>【その他】・図鑑 ・花クイズ ・もっとにぎやかにする</p> |
| 20代 | <p>【施設】・歩道を木道にする</p> <p>【その他】・ふるさと納税制度での本事業への支援</p> |
| 30代~50代 | <p>【自然・生物】・アカガエルの増加 ・ドジョウ ・ホタル</p> <p>【施設】・湧水の貴重性についての説明看板 ・カワセミの安息場</p> <p>【イベント】・ガイドツアー（夏のホタル）</p> <p>【その他】・水中を除く道具、水槽 ・生態園の歴史やトピックス紹介</p> |
| 60代~80代 | <p>【自然・生物】・自然のままに、今のまま（3） ・ウワミズザクラ ・ヤマザクラ ・ホウネンエビ ・タニシ ・スイレン ・自然を残しながらもっと整備</p> <p>【施設】・宿泊施設 ・山の中の散歩道 ・休憩所 ・果樹園 ・植物園</p> |

気になること、改善した方がよいこと（ある:27、ない:96）

| | |
|---------|--|
| ～9才 | 【自然・生物】・ハチを追い払ってほしい 【施設】・カメの水槽の水替え 【開館日時・開門】・平日の開園 |
| 10代 | 【自然・生物】・池の水質（2） ・雑草抜き ・栗が痛い ・へび駆除 【施設】・道幅の拡張（2） |
| 20代 | 【自然・生物】・展示ザリガニの水がない 【その他】・立入禁止の明確化 |
| 30代～50代 | 【自然・生物】・池の水量（少ない） 【開園日時・開門】・平日の開園 ・西門の開門（2） |
| 60代～80代 | 【自然・生物】・池の水質（2） ・池に注ぎ込む油 【施設】・管理エリアの拡張 ・山の中の休憩場所 ・竹の繁茂の抑制 ・枯草の掃除、手入れ ・井戸での水のポンプアップ 【開館日時・開門】・平日の開園 ・西門の開門 ・開園時間の拡張 【その他】・こんな良い所だからPRして地域に周知 ・市民のイベント ・ガイドブックの4冊目（秋冬）早くできるといい、楽しみ！ |

よいところ、好きなどころ

| | |
|---------|---|
| ～9才 | 【自然・生物】・自然（存在・多さ・癒し）（5） ・田んぼ ・水 ・池が大きい ・生きものの豊かさ・出会い（2） ・虫の多様さ ・カメ、ザリガニを食べるのが見れる（展示水槽）（2） 【イベント】・カードをくれる（ザリガニマスター）・いろいろなイベント 【その他】・たんけんができる ・広い |
| 10代 | 【自然・生物】・自然（9） ・生きものの豊かさ（3） ・奥の池 ・涼しい ・静けさ（人の少なさ）（3） ・田舎に来た気分 ・植物、花（きれい、近くで見れる、桜）（3） |
| 20代 | 【自然・生物】・自然豊かで落ち着く ・池、山、遊歩道等、自然の要素が多い ・すぐ近くは住宅地なのに非日常を楽しめる 【イベント】・昔参加させていただいた小学生向けイベント |
| 30代～50代 | 【自然・生物】・自然（非日常性、元気をもらえる 等）（4） ・新鮮な空気、マイナスイオン（2）・田舎を感じる、郷愁（2） ・里山 ・水田環境・谷戸（2） ・管理の程良さ ・ビオウォーク ・静けさ・人の少なさ（3） ・雰囲気（良い感じ） ・癒される ・景色 ・植物の多様さ ・夏は涼しく虫の鳴き声が良い ・亀 |
| 60代～80代 | 【自然・生物】・自然（維持・保全、都市の中での存在）（1 2） ・自然のまま（手が入っていない）（4） ・緑豊かな新鮮な空気 ・里山（2） ・季節感 ・田舎（郷愁）（2） ・カブトムシ 【施設】・植物名札 【その他】・自然を守るためのボランティアさんの尽力 ・貴重な存在 |

その他

| | |
|---------|---|
| ～9才 | <ul style="list-style-type: none"> ・米づくり体験すごくすごく楽しいです！ |
| 10代 | <ul style="list-style-type: none"> ・カワセミきれい！ ・魚を持ち帰りたい ・いつもここに来るのが楽しみです！ ・セキセイインコ（まるちゃん）を探しています。 ・私たちは茅ヶ崎小学校で何回もお世話になっています。これからも茅ヶ崎小学校をよろしくお願い致します。 By 茅ヶ崎小6年生 |
| 20代 | <ul style="list-style-type: none"> ・初めてこの公園へ来ました。学校のそばだとは思えないほど静かで心が落ち着きました。カモが好きなのでこの場で見られるとは思わず、じっと観察してしまいました。今この書いているときにも飛んできて嬉しくなりました。また来ようと思います。 |
| 30代～50代 | <ul style="list-style-type: none"> ・ずっと続いてほしい ・いつもご苦労様です。 ・先週久しぶりにカワセミを見れました。とてもかわいくてキレイでした。自然はとても元気になります。いつも楽しみに来ています。 ・先週カワセミが見れました。姉と一緒に初めて見てキレイと言って喜んでました。今日は開園かもしれないと思って来てみましたが、やっていてきれいな桜が見れました。来てよかったです。カメちゃんも元気でよかったです。 |
| 60代～80代 | <ul style="list-style-type: none"> ・上の道から大勢人がいる様に見えたので入ってきました。傍に来たらかかしでびっくりしました。俳句の材料探しに時々来ています。「要終へし かかし7体揃ひ踏み 裸木に残るも淋し鳥かな」 かかしに御苦労さまと言ってメモ書いてきました。 ・青葉区在住ですが、近くにこんな魅力的なところがあるのを知りませんでした。 ・いつも手紙（NL）ありがとう（サポーターさん） ・子どもたちの学習に役立つことが多くあります。今後も自然教育に役立つように願います。 ・自然のままを見られるので貴重です。1か月経って来てみたらすっかり変わっていました。 ・今のままで頑張ってください。 ・素晴らしい公園で感激しました。 ・会員登録します、後日会費をお持ちします ・ボランティアの皆さんが頑張って管理をされていることに感謝 ・この山があって環境に良い地区だと思います。 ・フランスの池はとてもきれいなのにここは汚い。国の意識が違う。ここもフランス庭園の池を見習ってきれいにしてほしい。 |
| 不明 | <ul style="list-style-type: none"> ・とても素敵な場所だと思います。こんなすごい所があるなんてはじめて知りました。また、自然生態園に家族で来たいです！ |

2009年～2020年5月で観察できた昆虫

| | 種類 | 2012.2.21 | 2013.4.15 | 2014.6.11 | 2015.4.05 | 2016.5.12 | 2017.5.10 | 2018.4.22 | 2019.4.08 | 2020.5.15 | | | | | | | |
|----|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | チョウ | 40 | 45 | 46 | 10% | 47 | 9% | 48 | 8% | 48 | 8% | 48 | 7% | 48 | 7% | 48 | 7% |
| 2 | ガ | 17 | 47 | 69 | 15% | 87 | 17% | 122 | 20% | 141 | 22% | 163 | 24% | 195 | 27% | 209 | 28% |
| 3 | セミ | 5 | 5 | 5 | 1% | 5 | 1% | 5 | 1% | 5 | 1% | 5 | 1% | 6 | 1% | 6 | 1% |
| 4 | カメムシ | 22 | 35 | 53 | 11% | 56 | 11% | 61 | 10% | 62 | 10% | 67 | 10% | 68 | 9% | 68 | 9% |
| 5 | トンボ | 18 | 20 | 24 | 5% | 24 | 5% | 26 | 4% | 25 | 4% | 25 | 4% | 26 | 4% | 26 | 4% |
| 6 | カミキリムシ | 8 | 19 | 24 | 5% | 29 | 6% | 30 | 5% | 30 | 5% | 30 | 4% | 31 | 4% | 31 | 4% |
| 7 | コガネムシ | 16 | 21 | 22 | 5% | 23 | 4% | 24 | 4% | 24 | 4% | 25 | 4% | 25 | 3% | 25 | 3% |
| 8 | テントウムシ | 9 | 13 | 14 | 3% | 14 | 3% | 14 | 2% | 15 | 2% | 15 | 2% | 16 | 2% | 17 | 2% |
| 9 | ハチ | 14 | 20 | 28 | 6% | 31 | 6% | 38 | 6% | 40 | 6% | 42 | 6% | 47 | 7% | 51 | 7% |
| 10 | バッタ | 10 | 10 | 10 | 2% | 10 | 2% | 12 | 2% | 12 | 2% | 12 | 2% | 12 | 2% | 12 | 2% |
| 11 | ハムシ | 9 | 23 | 30 | 6% | 32 | 6% | 32 | 5% | 32 | 5% | 34 | 5% | 34 | 5% | 34 | 5% |
| 12 | ゾウムシ・オトシブミ | 8 | 17 | 25 | 5% | 28 | 5% | 30 | 5% | 32 | 5% | 32 | 5% | 32 | 4% | 32 | 4% |
| 13 | アブ | 5 | 15 | 17 | 4% | 19 | 4% | 23 | 4% | 24 | 4% | 24 | 4% | 24 | 3% | 24 | 3% |
| 14 | その他(ゴミムシ、カゲロウ、ハゴロモ、カマキリ、ナナフシ、キリギリス等の仲間) | 56 | 90 | 107 | 23% | 120 | 23% | 138 | 23% | 145 | 23% | 151 | 22% | 156 | 22% | 155 | 21% |
| | 計 | 237 | 380 | 474 | | 525 | | 603 | | 635 | | 673 | | 720 | | 738 | |

■2019年度 米作りアンケート回答■大人回答12(新型肺炎拡大防止のために修了式が実施できなかった)

| | | | | | | | | | | |
|--|--|-----|-----|--------|-------|-----|-----|------|-------|--|
| 全体を通して「昔ながらの米作り」の内容は満足できましたか？ | たいへん満足 | | 満足 | | まあまあ | | 不満 | | 未回答 | |
| | 8 | | 3 | | 0 | | 0 | | 0 | |
| 楽しかった作業は何ですか？ | 田起こし | 田植え | 草取り | 稲の花の観察 | かかし作り | 稲刈り | 脱穀 | お餅つき | 堆肥入れ | |
| | 6 | 7 | 1 | 2 | 5 | 7 | 6 | 10 | 実施できず | |
| 参加できたものは全部です | | | | | | | | | | |
| スタッフへの要望・希望はありますか？ | ない | | | ある | | | 未回答 | | | |
| | 9 | | | 3 | | | 0 | | | |
| | ありがとうございました！ | | | | | | | | | |
| | 作業の終了時間をもう少し余裕のある設定にしていただけるとよいと思います。 当日の天候による服装の変更等はもう少し早く連絡をいただくと助かります。開始の40分～50分前くらい（開始の30分以上前に家を出発していたため）。 | | | | | | | | | |
| わかりにくかったことはありましたか？ | なかった | | | | あった | | | 未回答 | | |
| | 9 | | | | 2 | | | 0 | | |
| | オリエンテーションで準備するくつなどの説明がありましたが、それでもよくわからず、ずいぶん悩みました。 複数の作業が平行して行われているとき、全体を見渡して指示を出せる人がいればまとまりのある作業になると思います。 | | | | | | | | | |
| 参加費の金額は適当ですか？ | ちょうどよい | | | 安い | | | 高い | | 未回答 | |
| | 8 | | | 1 | | | 2 | | 0 | |
| 初参加のみだと高い印象がありますが、続けて参加すると参加費が安くなるので、リピーターになれば高いとは感じないかなと思います。 | | | | | | | | | | |
| 全体を通して、困ったことがあれば教えてください | | | | | | | | | | |
| しろかきと田植えは毎年いずれかが運動会で参加できません。運動会後のプチ参加も体力的にむずかしく、方法があれば毎年おもいます。 | | | | | | | | | | |
| 自分たちの反省点でもありますが、子供たちが作業にもっと積極的に参加してくれるとよいと思いました。低学年の子供たちもいるので、難しいところもありますが、何か工夫があるとよいですね。 | | | | | | | | | | |
| 雨天など仕方ないですが、予定が変更になる場合、学校行事とのかねあいなどもあり、都合がつかず、参加できないこともあり、残念でした。 | | | | | | | | | | |
| ほかにご意見、感想などがあれば自由に書いてください。 | | | | | | | | | | |
| おもちつきの時、こどもが出来ることがあまりなかったので、子どもの仕事ももう少しあると良いかなと思いました。 | | | | | | | | | | |
| 初めての参加でしたが毎回丁寧に教えていただき、親子共々楽しく参加できました。田んぼに入る作業はとても大変でしたが、自分たちで作ったお米の味は格別でした。 | | | | | | | | | | |
| 4年間お米作りに参加させていただきました。大変貴重な楽しい体験となりました。お世話になり、ありがとうございました。 | | | | | | | | | | |
| 2年目の今年は、一つ一つのステップ？の意味を考えながら参加できました。学びの面ではもちろんですが、他の参加者の皆さんと交流できたのも親子共に楽しかったです。大変お世話になりました。 | | | | | | | | | | |
| お囃子の皆さまに、うちの子が知る失礼な態度をとってしまったと思います。本当に申し訳ありませんでした。 | | | | | | | | | | |
| 2年参加させていただきましたが、米作りを最初から体験できるのはとても貴重なことなので、大変さも収穫の喜びも感じられて親子共にいい経験になっています。 | | | | | | | | | | |
| とても貴重な体験ができ、感謝しています。来年度は無理ですがまた、機会があれば参加したいなと思います。 | | | | | | | | | | |
| 来年度の米作り体験に参加しますか？ | 参加する | | | 参加しない | | | 検討中 | | | |
| | 4 | | | 6 | | | 1 | | | |
| (1年後の) 2021年度参加させていただきたいです | | | | | | | | | | |
| 来年度参加されない場合、苗取り、田の草取りなどのお手伝いをお願いしますか？ | 参加する | | | 参加しない | | | 検討中 | | | |
| | 3 | | | 3 | | | 1 | | | |
| 来年は、横浜をはなれる為、参加できませんが、その翌年参加できればと思っています | | | | | | | | | | |

■2019年度 米作りアンケート回答■こども回答14(新型肺炎拡大防止のために修了式が実施できなかった)

| | | | | | | | | | |
|-------------------------|-----------|--------|---------|---------|----------|----------|--------------|-------|-------|
| たのしかったですか？ | とても楽しかった | | たのしかった | | まあまあ | | たのしくなかった | | 未回答 |
| | 10 | | 2 | | 2 | | 0 | | 0 |
| 何がたのしかったですか？ | 田起こし | 田植え | 草取り | 稲の花の観察 | かかし作り | 稲刈り | 脱穀 | おもちつき | 堆肥いれ |
| | 3 | 6 | 1 | 1 | 6 | 6 | 4 | 11 | 実施できず |
| わかりにくいことがありましたか？ | なかった | | | | あった | | | | 未回答 |
| | 13 | | | | 1 | | | | 0 |
| | せいたいえんのこと | どうぐのこと | なえのうえかた | くさりのしかた | いねかりのしかた | だっこくのしかた | もみすりせいまいについて | その他 | |
| | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| ぜんたいを通して困ったことはありましたか？ | なかった | | | | あった | | | | 未回答 |
| | 18 | | | | 2 | | | | 2 |
| また米作りに参加したいですか？ | はい | | | | いいえ | | | | 未回答 |
| | 10 | | | | 3 | | | | 1 |
| ほかに思ったことなどがあればおしえてください。 | | | | | | | | | |
| おもちつきの時にもっと子どもも参加したいです。 | | | | | | | | | |
| 来年もやりたいです。 | | | | | | | | | |
| いねがりがたのしかったです | | | | | | | | | |